

第1学年 特別の教科「道徳科」年間指導計画

- 1 望ましい生活習慣を身につけ、節度と調和のある生活をするとともに、自主的、自律的に行動できるようにする。
- 2 生命の尊さを理解し、かけがえない生命を大切にできるようにする。
- 3 自然を愛し、環境の保全に努め、美的情操を深め、感動できる人になるようにする。
- 4 集団の一員としての自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めるようにする。
- 5 勤労の精神を重んじ、社会への奉仕の気持ちを深め、進んでボランティア活動に参加するようにする。
- 6 世界の中の日本人としての自覚をもって、国際社会に貢献できる人になるようにする。

月	週	主題名	教材名	内容項目	ねらい	評価の観点	関連行事等	
1	4	1	さらなる高みを目指して	1 全てがリオでかみ合った	A(4) 希望と勇氣、克己と強い意志	○高い目標を設定し、目標を達成するために困難や失敗を乗り越え、挑戦し続けようとする実践意欲と態度を育てる。	山縣選手の生き方から学び、自分自身も高い目標を設定し、目標を達成するために困難や失敗を乗り越え、挑戦し続けようと考えている。	始業式 入学式
2	4	2	あいさつを交わして	2 朝市の「おはようございます」	B(7) 礼儀	○相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝などの気持ちを具体的に示すことの意義を理解し、時と場に応じた適切な行動をとろうとする心情を育てる。	朝市の町の少年やアメリカの青年の挨拶に感激した作者に共感し、相手に対して尊敬と感謝の気持ちをもって挨拶をしようと考えている。	歓迎行事
3	4	3	権利と義務を考えて	3 選手に選ばれて	C(10) 遵法精神、公德心	○権利と義務の関係を多面的・多角的に捉え、思いやりの心をもって、正しく権利を主張し、主体的に義務を果たそうとする心情を育てる。	話し合いを通して権利と義務の意義を理解し、その大切さについて考えている。	
4	5	1	自分との付き合い方を考えよう	4 自分の性格が大嫌い！	A(3) 向上心、個性の伸長	○自分を客観的に見つめ、自身の良さや個性を伸ばし、充実した生き方を追求しようとする道徳的实践意欲と態度を育てる。	自分の性格を振り返り、個性を生かし、伸ばそうと考えている。	
5	5	2	いじめのない世界へ (1)	5 いじめに当たるのはどれだろう	B(9) 相互理解、寛容	○いじめに当たる行為や判断の根拠について考え、話し合うことを通して、相手の立場や個性を否定する「いじめ」を見逃さない態度を育てる。	いじめに当たる行為や判断の根拠について考えることを通して、いじめが相手の立場や個性を否定する行為であることに気づき、いじめを見逃さない気持ちを強めている。	生徒総会
6	5	3	情報モラルと友情	11 短文投稿サイトに友達の悪口を書くと	B(8) 友情、信頼	○友達との関係について考える中で、友情の大切さに気づき、お互いに励まし合い、心から信頼しようとする心情を育てる。	友情の大切さに気づき、お互いに励まし合い、友達のことを心から信頼できる関係を築こうと考えている。	
7	5	4	心の弱さを乗り越えるために	17 銀色のシャープペンシル	D(22) よりよく生きる喜び	○心の弱さと良心の間で葛藤する主人公に自分を重ね、弱さを乗り越えよりよく生きていこうとする志向性・態度を育む。	心の弱さと良心の間で葛藤する主人公に自分を重ね、よりよく生きる態度のだいじさを認識し、人間として生きる喜びについて考えている。	
8	6	1	いのちを考える (1)	12 いのちって何だろう	D(19) 生命の尊さ	○「いのちって何だろう」という作者の問いかけについて考えることを通して、命の意味や大切さについての理解を深め、生命を尊重しようとする心情を育てる。	「いのちって何だろう」という作者の問いかけに対して、自分の生活体験と結び付けながら考え、命の大切さについての理解を深めている。	いのちを見つめる日
9	6	1	いのちを考える (2)	13 決断！骨髄バンク移植第一号	D(19) 生命の尊さ	○命の大切さやありがたさをしっかりと見つめ、その尊さを理解したうえで、現実には他の生命の尊重に努めようとする態度を育む。	主人公自身の心の中にある迷いや戸惑いに共感し、命の大切さについて考えている。	道徳公開授業
10	6	2	世界の人々とともに	26 日本から来たおばさん	C(18) 国際理解、国際貢献	○他国の文化に逆らわずに国際貢献をする主人公の姿を通して、日本人としての自覚をもって、他国を尊重し、広く人類の幸福に貢献しようとする意欲を高める。	他国の人々や文化を尊重し、国際的視野から広く人類の幸福に貢献しようとする意識を高めている。	平和学習

11	6	3	ボランティア活動に参加して	8 楽寿号に乗って	C(12) 社会参画, 公共の精神	○ボランティア活動の意義を理解し, 進んで人々のために尽くそうとする意欲や態度を育てる。	作者の体験を通してボランティア活動の意義を理解し, 進んで人々のために尽くそうと考えている。	
12	7	1	いのちを考える (2)	あなたはひかり	D(19) 生命の尊さ	○自分の生命を見つめることで, 生命の尊さについて, その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重する態度を育てる。	生命はかけがえのないものであるという意識をもち, 自分や他の生命を大切にしようと考えている。	
13	7	2	明るい家庭をつくるために	14 母はおいしい	C(14) 家族愛, 家庭生活の充実	○母を思う主人公に共感し, 家族がお互いに信頼し合い, 感謝し合う温かい家庭を築いていこうとする心情を育てる。	明るい家庭を築くために自分には何ができるかを考え, 家庭生活を充実させていこうとする意識を高めている。	夏休み
14	9	1	いじめのない世界へ (2)	6 傍観者でいいのか	A(1) 自主, 自律, 自由と責任	○傍観者の視点から「いじめ」について考えることを通して, 人間の弱さを克服し, 自らの意志や判断で責任ある行動をすることの大切さに気づき, いじめを抑制する態度を育てる。	傍観者の視点から「いじめ」について考えることを通して, 人間の弱さを克服し, 自らの意志や判断で責任ある行動をとることの大切さに気づき, いじめを抑制していこうという思いを膨らませている。	後期後半開始 体育大会
15	9	2	安全な生活のために	9 山に来る資格がない	A(2) 節度, 節制	○登山中, 自分勝手な判断で行動した五人の言動を考えることを通して, 節度と節制に心がけ, 望ましい生活習慣を進んで身につけようとする態度を育てる。	集団生活の中で, 自分勝手な判断で行動してしまった五人の姿から, 節度と節制に心がけ, 望ましい生活習慣を身につけようと考えている。	
16	9	3	安全な生活のために	もし, あの時にもどれるのなら	A(2) 節度, 節制	○登山中, 自分勝手な判断で行動した五人の言動の役割演技を通して, 節度と節制に心がけ, 望ましい生活習慣を進んで身につけようとする態度や判断力を育てる。	役割演技を通して, 望ましい生活習慣を身につけようという意識を高めている。	
17	9	4	いじめのない世界へ (2)	ふたつの心	複数	○いじめの起こっている状況をさまざまな視点から見つめることで, いじめについての理解を深め, いじめ問題を解決しようとする意欲を育てる。	いじめについて, それぞれの人の考えがあることを理解したうえで, いじめ問題を解決しようと考えている。	
18	10	1	ふるさとのために	7 ぼくのふるさと	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	○ふるさとのためにできることをしたいと願う作者に共感することで, 自身の郷土への思いを見つめ直し, 地域の発展に努めようとする態度を育てる。	ふるさとで働きたいという作者の思いを理解し, 自分が地域社会の一員であるという意識を高めている。	市駅伝大会 前期終業式 地域貢献学習 ふるさと歴史発見学習
19	10	2	心に郷土を刻もう	23 郷土を彫る	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	○自分の住む地域の伝統や文化を知り, 郷土を愛し, 主体的に関わろうとする態度を育てる。	自分が生活する地域の良さに気づくとともに, 他の地域に学び, 郷土の一員であるという考えを深めている。	地域貢献学習 ふるさと歴史発見学習
20	10	3	友達とともに	15 班での出来事	B(8) 友情, 信頼	○友人関係についての話し合いを通して, お互いの個性を認め尊重し, とともに成長することのできる深い友情を構築していこうとする態度を育む。	お互いの個性を尊重し, とともに成長することのできる深い友情を構築していこうと考えている。	後期始業式
21	10	4	公共の精神とは	16 本が泣いています	C(12) 社会参画, 公共の精神	○図書館が抱える問題について話し合う中で, 社会の形成者であるという自覚をもち, よりよい社会の実現に向けて一人一人が社会参画していこうとする意欲を育てる。	主人公の悩みを理解し, 身の回りの社会をよりよくするために自分ができることを考えている。	

22	11	1	だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して	18 ごみ箱をもっと増やして	C(10) 遵法精神, 公德心	○街の中にごみ箱を増やすかどうかの話し合いを通して、誰もが気持ちよく生活できるよりよい社会にするために、自分はどうすればよいかについて考え、それを実践する態度を養う。	街の中にごみ箱を増やすべきかどうかを考えることを通して、よりよい社会を構築するために自分はどうすればよいかについて考えている。	
23	11	2	新しいものを生み出すときに	19 「どうせ無理」という言葉に負けない	A(5) 真理の探究, 創造	○目標に向かって努力する主人公の姿を通して、新しいものを生み出そうとする意欲を育てる。	主人公の考えに共感し、物事を粘り強く探究していこうと考えている。	三者面談
24	11	3	クラスの生活をよくするために	20 席替え	C(11) 公正, 公平, 社会正義	○主人公の行動を通して、道理にかなって正しいことを自ら認識し、それに基づいて適切な行為を主体的に判断し、実践しようとする意欲や態度を培う。	物事の是非を見極め、公正, 公平な態度で自他に向き合おうと考えている。	
25	11	4	クラスの生活をよくするために	くじ引きの後の場面をやってみよう	C(11) 公正, 公平, 社会正義	○役割演技を通して、正しさを重んじ、公平で公正な社会を実現しようとする意欲と判断力を育てる。	役割演技を通して、公平で公正な社会を実現しようと考えている。	
26	12	1	その人が本当に望んでいること	21 その人が本当に望んでいること	B(6) 思いやり, 感謝	○役割演技を通して、他者の立場を尊重し、思いやりの心をもって人と接しようとする態度を養う。	役割演技を通して、自分が相手のために何ができるかを考え、実践していこうとする意識を高めている。	人権集会 生徒会選挙
27	12	2	その人が本当に望んでいること	21 思いやりの日々	B(6) 思いやり, 感謝	○本当の思いやりについて話し合う中で、温かい人間愛の精神を深め、思いやりの心をもって人と接しようとする実践意欲と態度を育てる。	相手を思いやることの大切さや難しさを理解し、他者を尊重する生き方をしようと考えている。	後期前半終了
28	1	1	いきいきとかがやいて	22 「看護する」仕事	C(13) 勤労	○働くことの喜びについて考えることを通して、勤労の尊さを理解するとともに、自分の将来についての考えを深め、社会に貢献しようとする意欲を育てる。	主人公が笑顔で働くことのできる理由を理解し、勤労の意義について考えを深めている。	後期後半開始 職業調べ
29	1	2	働くってどんなこと?	10 新しいプライド	C(13) 勤労	○作者の心境の変化を通じて、勤労の尊さや意義を理解し、自分の将来の生き方について考えを深めようとする態度を養う。	勤労の尊さや意義を理解し、自分自身の将来の生き方について考えている。	職業調べ
30	1	3	人の気持ちが分かる人間を目指して	28 落語が教えてくれること	B(9) 相互理解, 寛容	○相手の気持ちを想像することを通して、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていく心情や態度を育てる。	お互いの個性や立場を尊重し、物事の見方や考え方がさまざまであることを理解している。	
31	2	1	よりよいクラス活動を目指して	25 全校一を目指して	C(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実	○集団の一員としての役割と責任の自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めようとする道徳的实践意欲と態度を育てる。	集団の一員としての役割と責任の自覚をもち、協力し合って集団生活を向上させていこうと考えている。	
32	2	2	生きることのすばらしさを感じて	27 花に寄せて	D(22) よりよく生きる喜び	○主人公に共感し、困難や障害を乗り越え、人間として誇りをもって、よりよく生きていこうとする態度を育てる。	作者に共感し、人間として誇りある生き方をしようと考えている。	
33	2	3	自然とのつながりを考えよう	29 桜に集う人の思い	D(20) 自然愛護	○桜に込められた願いを知り、自然環境を大切にしようとする心情を育て、自然を守ろうと努める態度を培う。	桜に込められた願いを知る中で、身の回りの自然を大切にし、進んで自然愛護に努めようと考えている。	
34	3	1	自然の力と向き合って	24 火の島	D(21) 感動, 畏敬の念	○自然の美しさに感動し、人間の力を超えたものに対して畏敬の念をもって接しようとする心情を育てる。	自然の偉大さについて自らの経験を振り返り、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を抱いている。	

35	3	2	日本の伝統と文化にふれて	30 古都の雅、菓子の子の心	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	○伝統を守り伝えている主人公の考えに共感し、日本の伝統や文化として古くから受け継がれてきた心を理解し、これからも大切にしようとする心情を育てる。	伝統や文化を継承し、それらを発展させていこうとする主人公の姿に共感している。	卒業証書授与式 修了式
付録1			心がけたいこと	忘れ物	A(2) 節度、節制	○節度ある生活について考えることを通して、望ましい生活習慣を身につけ、調和のある生活をしようとする態度を養う。	望ましい生活習慣を身につけるために必要なことについて考えている。	
付録2			人の優しさにふれて	心をつなぐバス	B(6) 思いやり、感謝	○バスでのやりとりから温かい思いやりを感じ、広い視野でお互いの気持ちや相手の立場を考えながら行為を選んでいく大切さに気づき、よりよい人間関係や明るい社会を築いていこうとする態度を育てる。	バスの中での温かな雰囲気やその要因に共感するとともに、よりよい社会生活を営んでいくうえで広い視野、多様な視点での思いや行為の表し方について考えている。	
付録3			責任を果たすということ	父のひとこと	A(1) 自主、自律、自由と責任	○主人公に共感し、自主的に考え、自ら選んだことを誠実に実行し、その結果について最後まで責任を果たそうとする態度を育てる。	主人公に共感し、自らの選択に責任をもとうとする意識を高めている。	
付録4			正義の心をもって	いじめっ子の気持ち	C(11) 公正、公平、社会正義	○作者の主張について理解を深め、正義を愛し、いじめを解消して、差別や偏見のないよりよい社会の実現を目指しようとする意欲を高める。	いじめの問題点について考え、正義を愛し、公正、公平に生きようとする意識を高めている。	
付録5			いのちを見つめて	見沼に降る星	D(19) 生命の尊さ	○生命の尊さ、重さに心を開き、限りある生命を精一杯燃焼し、常に前向きに生きていこうとする心情を養う。	病を患った友人に対して、見舞うことしかできない自分の非力さを感じながらも、友人の分まで精一杯生きなければと、「命」の重さを尊ぶ主人公の姿に共感し、生命の尊さについて考えを深めている。	

部については、付録との差し替えが可能です。